

性的マイノリティに関するDVD一覧

使用については無料です。研修教材等にご利用下さい。

お問い合わせ、お申し込みは、

☎ 77-9100 (ダイヤルイン) ・ FAX 77-2171

にお申し込みください。

番号	教材名	上映時間	内 容
546	あなたがあなたらしく 生きるために 性的マイノリティと人権	30分	性・セクシュアリティはとても多様です。しかし、それをしっかり理解している人はごくわずかでしょう。そのため、性的マイノリティの多くが、生きづらさを感じています。誰もがありのままを受け入れられ自分らしく生きたいと望んでいます。そんな社会を実現させるためには、まず相手を正しく理解し、偏見や差別をなくす必要があります。この教材は、性的マイノリティについて人権の視点で理解を深めるのがねらいです。性的マイノリティの入門編としてご活用ください。
553	高校生向け人権講座 セクシュアル マイノリティ入門	67分	★「もしも友だちがLGBTだったら？」(20分) 当事者メッセージ「ありあり!!」(2分) ★「LGBTインタビュー」(25分) おまけ(学校の思い出)(10分) おまけ(いろいろ)(10分)
554	小学生向けDVD教材 「いろいろな性別 ～LGBTに 聞いてみよう! ～」	71分	LGBTについて、小学生にわかりやすく説明するDVD教材(3編構成) (1)はじめに「ゆうきからのお知らせとお願い」(7分) (2)児童向け「いろいろな性別～LGBTに聞いてみよう～」(34分) (3)先生向け「特別授業：LGBTに聞いてみよう」(30分)
556	セクシュアルマイノリティ 理解のために ～子どもたちの学校生活と ここを守る～	56分	子どもたちは、あなたの言葉を待っています。セクシュアル・マイノリティの多くは思春期までに周囲との「ちがい」に気づき親にも教師にも話せないまま、多感な子ども時代を過ごしています。学校に行けなくなる生徒もいれば、命を絶ってしまう子もいます。がんばる学校、応援します!「どう向き合えばいい?」「どんな言葉がかけられる?」・・・・おとなたちからの相談が次々とよせられています。子どもたちが向き合う状況を理解し、適切なケアをするために教育や支援にたずさわる方はぜひご視聴ください。

番号	教材名	上映時間	内 容
558	Coming Out Story カミングアウトストーリー	60分	性同一性障がいの悩みを抱えつつ生き抜く高校教師、土肥いつきさんの姿を通して、人が生きることの本質を問うドキュメンタリーです。日本映画学校の卒業制作として制作され、その年の最優秀監督に贈られる”今村昌平賞”を受賞した作品を、梅沢圭監督自身が再編集を行って劇場公開されました。2011年10月7日より、東京・南青山スパイラルホールにて開催された「第20回東京国際レズビアン&ゲイ映画祭」でも上映されました。
564	終わりのない生命の物語2 5つのケースで考える生命倫理 Case3 虹色のカルテ [LGBTと医療]	12分	交通事故で搬送されてきた患者、麻梨奈はトランスジェンダー男性だった。普段は男性として生活しているため、入院生活には、病室、トイレ、寝間着など色々と問題がある。また、脳の手術を受ける患者、真人は同性愛者だった。手術による後遺症の可能性と共に両親にカミングアウトする正人。 性の垣根が取り払われつつある現代だが医療の現場では・・・
566	みんなで考えるLGBTs ①いろいろな性 ～好きになる性～	23分	異性を好きになるか、同性・両性を好きになるか、あるいは誰にも恋愛感情を抱かないといった性的指向は、嗜好や志向とは異なる「指向」であり、本人が選択できるものではないと考えられています。本巻は、同性愛者(ゲイ、レズビアン)である生徒たちのドラマを見ながら、好きになる性の多様性について考える映像教材です。
567	みんなで考えるLGBTs ②いろいろな性 ～心の性・表現する性～	19分	体の性と心の性が異なるトランスジェンダー、男でも女でもない自認するXジェンダー、自身の性自認に揺れ動くクエスチョニング…、心の性、表現する性は実に多種多様です。近年は学校などにおける多目的トイレの設置や男女共用制服の整備など、徐々に教育現場でも取組まれてきています。自分が何者であるのかという戸惑いや揺らぎを経験する生徒たちの物語を見て、心の性や表現する性について考えます。
568	みんなで考えるLGBTs ③ 性的指向と性自認 (解説編)	22分	統計によると、人口の約8%前後がLGBTsであると推定されています。これは30人のクラスでいえば約1～2人の生徒が該当するということになります。しかし、学齢期の早い段階での教育を待ち望まれているが、教員自身の正確な知識や理解が追いついていないという現状があります。本巻では、性の多様性を解説し、LGBTsを取り巻く社会の動きなども紹介し、その理解を深めます。

番号	教材名	上映時間	内容
573	LGBTシリーズ 「これが私の生きる道」 ～仲間しゅん～	30分	男性の戸籍をもちながら女性弁護士としてテレビやラジオ、さらに年間100回を超える講演で全日を飛び回る。自身の体験や弁護士経験を裏付けに 偏見や差別の不合理をスカッとぶった切る。 「皆違って、皆いい」の本質を詳細に解説。
574	LGBTシリーズ 「パパは女子高生だった！」 ～前田良～	28分	女性から男性へ性別転換し、結婚、その後二人の子をもつ父親となった。一審、二審で敗訴しながら、最高裁で勝訴、日本で初めて戸籍上で実子と認めさせた。イラストレーターの妻の絵を使った処女作「パパは女子高生だった」も絶賛発売中だ。
575	レインボー学習	30分	当事者インタビュー チャプター1：山口 颯一（10分）トランスジェンダー（女性から男性に性別変更） チャプター2：田中 利枝（10分）レズビアン チャプター3：嶋田&加納カップル（10分）ゲイ
576	はじめて学ぶLGBTs ① 男らしい色？女らしい色？ ＜低～中学年向け＞	12分	小学校低～中学年の児童には「性的指向と性自認」の知識を教えるというよりは、世の中が作り出す男らしさや女らしさといった規範がすり込まれる前に、「人はみなそれぞれ違うこと、その違いがいいこと」「こうあらねばならない、ということとは決してない」といったメッセージを伝えることが大切です。アニメーションにより描かれた色鉛筆と人間との物語を通して、思い込みや偏見にとらわれることの無意味さに気付き、自分らしくあることの素晴らしさ、他者を尊重する姿勢を学びながら、多様性を肯定的に捉える感性の芽を育てる機会とします。 物語の後に教員向け映像を収録し、本編の視聴後にどのような問題提起をすることができるか、授業展開のための具体的な指導案も示します。
577	はじめて学ぶLGBTs ② 好きになってはいけないの？ ＜中～高学年向け＞ NEW！	22分	小学校中～高学年は他者への関心が高まり、恋愛感情の芽生えを経験する児童もいます。本巻は、同性を好きになった児童の物語を通して、恋愛感情のあり方は決して画一的なものではなく多様であり、異性を好きになる人も同性を好きになる人もおり、いずれかに価値があるのではなくどちらも肯定的に捉えることができる構成にしました。また、小学校中～高学年には自分の性的指向や性自認に気付く児童も少なからず存在しており、そうした当事者児童の自己肯定感が阻害されることなく勇気づけられ、自尊感情を育めるように配慮しました。 物語の後に教員向け映像を収録し、本編の視聴後にどのような問題提起をすることができるか、授業展開のための具体的な指導案も示します。

番号	教材名	上映時間	内容
578	LGBTsの子どもの命を守る学校の取組 ① 危機管理としての授業の必要性 NEW!	38分	<p>小学校・中学校の教科書に性的指向と性自認の多様性についての記載が盛り込まれ、学校教育で性的指向と性自認の多様性を理解する取組が始まっています。しかしながらLGBTsの学齢期におけるいじめ被害、自傷行為の高さが国内外の研究で示されており、教育現場は危機管理の一環としてこの問題を捉え、現状を十分認識した上での取組をしなければなりません。</p> <p>本巻では、LGBTsに関する授業の実現を目指し、学校としてできることを模索していく一人の教師の姿を描きます。取組に抵抗する同僚など実際の学校現場で起こりうる様々な困難も描き、その解決策を考え、問題が起こりつつも一歩前に進めるための多くのヒントを得ることが出来ます。</p>
579	LGBTsの子どもの命を守る学校の取組 ② 当事者に寄り添うために ～教育現場での落とし穴～	38分	<p>教育現場にLGBTsの児童生徒は一定数存在しているにも関わらず、実際にその当事者と対応経験のある教員は多くありません。当事者の多くは、誰にも話すことが出来ずにいる場合が圧倒的に多く、葛藤や苦悩を抱えていることが少なくありません。最大限の想像力を持ち、こういった状況への配慮が求められます。</p> <p>この巻ではLGBTsの児童生徒のみならず彼らを取り巻く非当事者の児童生徒の存在やその関わりにあたって、教員が留意すべき心得や、学校での取組や授業展開の注意点などを物語仕立てで紹介します。教師の不適切な声掛けや授業展開がどのような深刻な事態をもたらす可能性があるか具体的に描く一方、目指すべき理想的な対応の一例も示します。</p>
584	パースディ NEW!	37分	<p>「性の多様性を認め合う～誰もが自分らしく生きられる社会をめざして～」</p> <p>セクシュアルマイノリティについては、依然として社会理解が進まず、偏見や差別、配慮に欠けた対応などで、自身の思いや悩みを打ち明けることが難しく、周囲の無理解に苦悩し、生きづらさを感じている状況など様々な問題があり、深刻な人権問題になっています。一方、セクシュアルマイノリティであることを打ち明けられた家族や友人等は、既成概念による偏見や知識不足によって、理解しようと向き合う前に混乱や抵抗感にとらわれてしまうことが多くあります。</p> <p>性の在り方は多様で一人ひとりの人権に関わることであるため、セクシュアルマイノリティの存在や悩みに気づくことが大切です。この作品をセクシュアルマイノリティについて理解するきっかけとして、その多様性を認め、互いの人権を尊重することは、すべての人が自分らしく生きていける社会につながっていきます。そのような社会の実現をめざすことを目的として制作されました。</p>